

CONTENTS COMBAT

2014.Apr.
No.457

4

Cover Design
favorite graphics (tamao ito),
Cover
熊谷義久 (WPP)

配給: ポニーキャニオン / 東宝東和
©2013 Universal Pictures
©WORLD PHOTO PRESS 2014
※本文中の価格は消費税込みの
総額表示です



【第1特集】

映画

008 『ローン・サバイバー』

052 SHOT SHOW 2014 in Las Vegas

●Photos&Text by Tomo Hasegawa

【第2特集／トイガン】

022 東京マルイ M9A1シリーズ

●Photos: Masakuni Miyasaka (WPP) ●Text: 編集部

026 WESTERN ARMS TUSSEY CUSTOM STEALTH COMP SILVER Ver.

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

030 WESTERN ARMS PARA-ORDNANCE GI EXPERT RED Ver.

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

033 WESTERN ARMS BERETTA M92FS BORDER MARSHAL

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

036 MARUZEN WALTHER PPK/S BLOW BACK

●Photos&Text by Taku

040 Custom ToyGun Corner MARUZEN M1100 PRIVAT CUSTOM PartI

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY



048 【第3特集／ミリタリー】 月刊 自衛隊「ニッポンのちからこぶ」 第1施設大隊

●取材: 菊池雅之

085 Militaria Roundup! アメリカ陸軍 将校用野戦装備 Part.3

●解説: 菊月俊之

130 The Equipments of the U.S. Force [現用米軍装備カタログ] 第115回 米軍特殊部隊最新 ヘルメット&アクセサリー

●解説: 松原隆 (高知ボンバース) ●撮影: 山崎 学

004 COMBAT FRONT LINE

070 トイガンニュース

070 WA ナイトホーク・ブレデター

072 WA ノースアメリカン・アームズM1911

074 戦車兵通信

075 Goods & Accessory

084 サープラスいじり技術研究所

●写真・文: 織本知之

096 PRESENT

140 monoショップ新聞

142 兵装嗜癖

●by Fujiwara

184 中田商店グッズ

186 S&Grafグッズ

097 GAME OVER THE TOP

物欲ワンホール

ROUND 30: 未知への憧れ 気ままに冒険の旅 Part.3

104 レア・ミリタリー・テクノロジー

108 ミリタリー雑学講座

112 A STITCH IN TIME

113 GEAR CUSTOM WORKSHOP

PROJECT NINJA ●Tokyo Equipment Stupid

116 アメリカGUN事情 Guns Talk from US

118 蛙のゆびさき (中山 蛙)

122 帰ってきた 狩野健一郎の[監督、そこにおっぱいは必要ですか!?]

124 トイガンズジャンクション

161 バックナンバーリスト

162 読んで覚える TakuのHOW TO Shooting 射撃のススメ

166 Military Collection

168 陸上自衛隊第一空挺団 空挺はじめ ●取材: 菊池雅之

170 狩野健一郎のシネマ放浪記

171 狩野健一郎の新作DVD紹介

172 コンバットマガジン・インフォメーション・センター

174 ビバ・ナイフ!

175 読者プレゼント応募方法

176 編集後記



NEW GENERATION STYLER

Text : fujiwara [Dazzled Eyes Designs.]

2014年3月21日(金・祝)

TOHOシネマズ日本橋 他全国ロードショー

配給：ポニーキャニオン／東宝東和
©2013 Universal Pictures

ローン・サバイバー

LONE SURVIVOR

M9A1 SERIES

東京マルイ | ☎03-3605-3312 http://www.tokyo-marui.co.jp/
Photos: Masakuni Miyasaka (WPP)
Text: 編集部

米海兵隊の要望でアンダーレイルを
装備したM9A1。東京マルイでは
電動ブローバック、電動ハンドガン、
ガスブローバックと
各シリーズでそろい踏み!



M1911A1“ガバメント”に替わる米
軍制式拳銃として、1985年に「M9」と
して制式採用されたベレッタM92F。採
用から実に30年近く経過しているが、
未だそのスタイリッシュなデザインは
古さを感じさせない。

2006年には米海兵隊の要請により、
フラッシュライトなどのアクセサリ
を装着するための20mmアンダーレイル
をフレーム下部に備えた「M9A1」が登
場。グリップ性能や操作性、視認性の
向上を図り、現代の戦闘に適した進化
を遂げた。

東京マルイではM9A1をガスブロー
バック、電動ハンドガン、電動ブロー
バック・フルオートの3シリーズでモデ
ルアップしている。今回は3シリーズが
出揃ったM9A1を比較検討してみよう。

各シリーズの特徴

ガスブローバック

2012年5月に開催された静岡ホビー
ショーで発表。2012年8月に販売が開始
されたM9A1モデルのトップバッター
となったガスブローバック。それまで
のガスブローバックM92Fミリタリー・
モデルの単なるバリエーションではな
く、可変HOP UPやデコック機能の搭
載、新規金型で設計された完全なNEW
モデルだ。さらに各部のサイズが実銃
と同様になり、実物のグリップやアク
セサリーが装着できるようになり、重
さも実銃と同等になった。

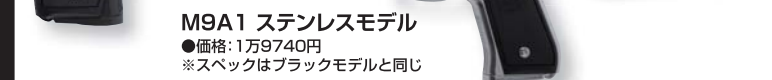
電動ハンドガン

昨年2013年12月にリリースされた
電動ハンドガン・シリーズのM9A1は、
同シリーズ前作であるH&K USPか
ら7年ぶり、4モデル目となる。

スライド内部に充電バッテリーを搭
載した電動ハンドガンは、ランニング
コストも安く、手軽に楽しめるシ
ーズ。また“電動”という利点を活かし、
実銃にはないフルオート射撃も可能。
そのためインドア・フィールドでメイ
ンウエボンとしたり、機動性を活かす
サバイバルゲーマーに人気があるのも
このシリーズの特徴だ。さらにBB弾を
撃ち出すのはガスではなくエアコッキ



ガスブローバック M9A1
●全長：216mm
●重量：961g（空マガジン装着時）
●銃身長：115mm
●パワーソース：HFC134aガス
●装弾数：26+1発
●価格：1万7640円



M9A1 ステンレスモデル
●価格：1万9740円
※スベックはブラックモデルと同じ

東京マルイのM9A1モデル第一弾となったのがこのガスブローバック・タイプだ。実銃同様にデコッキ
ング機能を搭載し、スライドとフレームは、それぞれの素材の違いからくる色の差を実銃同様に再現す
るこだわりよう。可変HOP搭載で内部に金属製のウェイトを配置し、こちらも実銃と同じ961gという
重量を実現している。また硬質マットクロームメッキ仕上げの「ステンレスモデル」もリリースされている。



シリーズ4作目となる電動ハンドガン
M9A1。実銃にはないセミ/フル切り替え
でサバゲー・フィールドでも大暴れできる
ポテンシャルを秘めている。

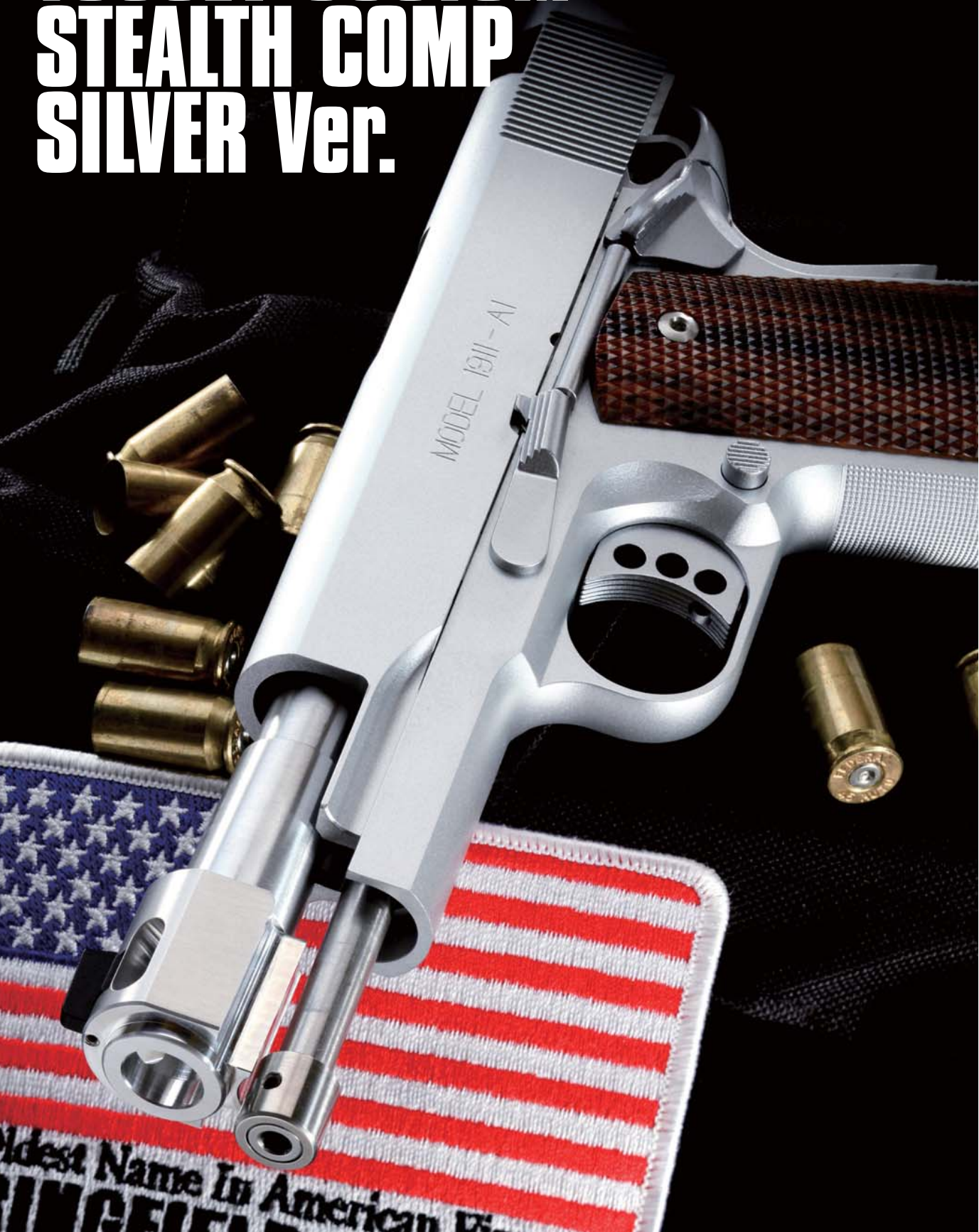
電動ハンドガン M9A1
●全長：215mm
●重量：685g（空マガジン+バッテリー装着時）
●パワーソース：7.2Vニッケル水素
マイクログ500バッテリー
●装弾数：30発
●価格：1万6590円



電動ブローバック・フルオート
M9A1 ブラック/シルバーモデル
●全長：217mm
●パワーソース：単4アルカリ電池4本
●装弾数：15発
●価格：4179円

10歳以上用とは思えないほどの出来映え
は、さすが東京マルイ。同シリーズ独自の
安全機構にグリップ前面に設けられたグリ
ップセフティが外観上の特徴。ブラック
モデルとシルバーモデルから選べる。

TUSSEY CUSTOM STEALTH COMP SILVER Ver.



タッシー・カスタム 《ステルス・コンプ／シルバー・バージョン》

- 全長：約220mm
- 銃身長：約114mm
- 重量：約910g
- 装弾数：21+1発
- 価格：5万4000円
- WA渋谷店限定好評発売中!!



メタルチャンバー
カバーには、高精度
バレルをイメージした「KART
45 NM」の刻印。

手作りにこだわる 全米有数のガン・スミス

ウェスタン アームズ（以下：WA）から、ガバメント本体のシルエットを踏襲した高精度カスタム・ガバメント“タッシー・カスタム／ステルス・コンプ”が登場する。このカスタムは、ハリウッドのアクション・スター、ステイブ・セガールが、映画の中で使用するプロップを手掛けることで有名なテリー・タッシーがデザイン制作しているものだ。

ガバメント用のカスタム・パーツが豊富なアメリカだが、日本のトイガンのように、ショップで購入して自分で組み込めるものは非常に少ないようだ。知識と経験のあるショップのスタッフや、銃器メンテナンスのプロ、つまりガン・スミスに調整と組み込みを依頼するのが常識になっているという。実弾を発射し、しかもセルフディフェ

ンスやレースに使用することを考えれば、それも当然だ。いざという時に正常に作動してくれなかったら、とんでもないことになってしまう。そのため、アメリカには星の数ほどのガン・スミスが存在している。

ガン・スミスといわれる人達の中で、日本の銃器ファンでも名前が思い浮かぶというのは、かなり有名な人に限られる。もちろんアメリカでも、その腕の確かさとセンスが認められたひと握りの人気ガン・スミスだ。ネバダ州カーソン・シティのテリー・タッシー氏は、セガール用のプロップ・ガバメントが知られてはいるものの、日本の銃器ファンにはあまり知られていない。その理由は、製作数が少なく、数々のカスタム・ガバメントの中でも、極めて高価になっていること挙げられるだろう。

最近では、ハイクオリティなクローン・ガバメントを製作するファクトリーがいくつもある。WAがタッシー・カスタムのベースに選んだスプリング



シャープなシルエットのマガジンウェル一体型ストレートハウジングを採用。樹脂製バンパーを備えたSFAタイプのマガジンを標準装備する。

MARVZEN M1100 PRIVATE CUSTOM Part I



リアルなブローバック・アクションを余すところなく再現したガスショットガン、マルゼンの“M1100”。外観とアクションの迫力は向かうところ敵なしだ。1998年にデビューして以来、数々のバリエーションが生産・販売されたが、現在はエクステンション・バレルとショート・モデルのリヴィジョンが生産されているのみ。ミドルバレルやフォールディングストック・タイプが欲しい場合は、個人的にカスタムするしかない。装弾数7+1発、ブラック・バージョン価格3万1290円、ウッドストック・バージョン価格4万1790円で、好評発売中!!



ここ半年ほど、モノクロ・ページの連載でショットガンをテーマにしてきた。各トイガンメーカーから発売されている色々なモデルを見ているうちに、「やっぱりM1100は面白い……」と思うようになった。手持ちが2挺、1挺はスタンダード・タイプの“エクステンション・バレル／ブラック・バージョン”、もう1挺は、メタル・フレームの“フォールディングストック・タイプ”。どちらもマルゼンがM1100を発売した当時の初期生産モデルで、購入したのは1990年代の終わり頃。すでに14～15年も前の製品だ。にもかかわらず、ガス漏れもなくちゃんと動くから感心してしまう。

エクステンション・タイプはあまり作動させていなので、気温が低くなると排莢不良が多発するものの、まったくトラブルなし。フォールディングストック・タイプは、頻度が半端じゃなかったせいか、早々とシェル（カートリッジ）・キャリアが破損してしまい、そのまま放置していた。マルゼンではパーツ販売をしていない。修理はマルゼンに送り、修理した後に送り返してもらおうというシステム。長モノなので、送料はバカにならない。

というわけで、単発エジェクト式として遊んでいたのだが、モノクロの連載をきっかけに「直そう!!」と決心し、今流行り（というより“常識”か）のインターネット・オークションで、“パーツ取り用”で出品されていたものを破格で落札。不用なパーツもあったが、何かの時に使えるので、まったくムダになるということもないだろう。

で、M1100メタルフレーム・フォールディングストック・タイプがめでたく復活。反動はほとんどないものの、意外に大きな音と、特大のシェルが勢いよく弾き出される爽快感に酔いしれる毎日が続いた。皆さんもM1100をぜひ試して欲しい。その迫力のアクションが、きっと病



オリジナル・デザインの4面アクセサリ・レール付きフォア・ハンドをセット“M1100リヴィジョン”。タクティカル系の銃器が人気を呼ぶ現在の傾向を的確に捉えたバリエーションだ。レールもフォアハンド本体も樹脂製なので、強度的にはやや不安が残る。またフォールディングストック付きのバリエーションも発売してほしいモデル。装弾数3+1発、価格2万790円で好評発売中!!

み付きになるはずだ。

さて、2000年に入って、“タクティカル系ショットガン”というのが定着した。有名なのは、カスタム・ガバメントの製作で著名なウィルソン・コンバットの“スキャッターガン”。M870をベースにしたタクティカル系カスタムの草分けが、このウィルソン・モデルだ。エアソフトガンでは、タナカがいち早くこれをモデルアップしたが、残念ながら現在は生産も販売もされていない。昨年、東京マルイが発売した“M870タクティカル”も、ウィルソンのスキャッターガンを踏襲したデザインだ。

ショットガンといえば、色々な意味で“M870”がいちばん人気。複数のメーカーがモデルアップし、海外でも作られている。しかし、セミオートのM1100は、現時点でマルゼンのモデルしか存在しない。そのためM1100専用カスタム・パーツというのは皆無。M870用のパーツはG&Pなどからいくつもリリースされているが、M1100用はまったくない。共用可能という程度のパーツが、いくつか存在しているだけだ。せっかく直したM1100を、何とかカッコよくカスタムしたいと思ったが、市販されているパーツの適合・不適合がわからない。かといって諦めるのも残念だ。

モノクロ連載の関係で、マルゼンのM870



インターネット・オークションで手に入れたパーツ取り用のM1100。もちろん格安。これだけパーツがあると、破損品の修理以外にも色々なカスタムに利用できる。

とM1100をじっくり見くらべていて、ハタ気が付いた。

「この2機種は、ほとんどのパーツが共用できるじゃないか!!」

読者の皆さんはとくに気がついていたかもしれないが、マルゼンのM870とM1100は、アウター・フレームに、メカニズムを内蔵したインナー・シャーシをはめ込んでいる。多くの電動ガンと同じような構造だ。従って、ポンプアクションとセミオートの内部メカニズム違うものの、外装はほとんど同じデザイン、同じサイズのパーツで構成されている。従って、いくつか目をつぶらなくてはいけない部分があるだろうが、アウター・バレルやフレーム、ストックなどは共用できる……ハズだ。

さっそく色々なカスタム・パーツを買い込み、オークションでカスタム・ベースにする中古を買い込んで（バリエーションを含めて8挺も買ってしまった…貯金ゼロ……トホホ状態だ）、プライベート・カスタムに取りかかった……。

SHOT SHOW 2014

in Las Vegas

Photos & Text by Tomo Hasegawa

華やかな装飾で楽しませてくれるのは「スミス&ウェッソン」社のブース。特殊部隊の武器倉庫の雰囲気製品を展示。自分のコレクションをこんな風に並べてみたいもんです！

アメリカで開催される世界最大規模の銃器見本市「ショットショー」。毎年、世界中から銃器やナイフ、装備やハンティング、アウトドアに関係する会社が大集合。今年2014年も1月14日～17日の4日間、サンズイクスポセンターで開催された。ここ数年は1月の早い時期に開催されるようになり、まさにガン業界の新年幕開けのイベントになっている。

世界的な経済不振、そして政情不安の暗雲が重くたれ込む昨今。しかしガン業界は元気。会場には新製品や人気の逸品が並ぶ。最前線のニーズや、独自のアイデアを具現化したものなどいろいろある。大企業はもちろんだが、目を惹くのはフットワークの軽い小さな会社から発信された新製品か!? これら新製品からメジャーになれるものがいくつあるか?

それぞれの開発コンセプトに注目しながら、素晴らしいアイデアに驚かされる。ガン&ミリタリー好きにとって素晴らしいイベント。それがショットショーだ。

各社自慢の製品を、それぞれに趣向を凝らした展示もショットショーならではの楽しみのひとつ。華やかで豊かな会場の雰囲気はなかなか他では味わえないもの。会場の空気感も含め、ショットショーの魅力をライブ感覚で味わってください!



Photo :
Federal Bureau
of Investigation



Photo : Australian Army

01 Crye Precision製 AIR FRAMEヘルメット



前後の防弾シェル・パーツの繋ぎ目
部分が空気取り入れ口になっている。



OPS-CORE社がサイドレールを提供。



AIR FRAMEヘルメット

専用パッドを除いた裏側
部分。チンストラップは
OPS-CORE製だ。



FAST ヘルメット & PVG-18 ナイトビジョン

The Equipments of the U.S. Force

【現用米軍装備カタログ】第115回

米軍特殊部隊最新ヘルメット & アクセサリー

●解説:松原隆(高知ボンバーズ) ●撮影:山崎 学

●協力ショップ:LAZY CAT <http://lazycat.jp/> Gamis <http://www2.ocn.ne.jp/~gamis/>

Tri.S(旧・特小工房)<http://tri-ss.com/> MILITARY TOKYO <http://www.militarytokyo.com/>